

新しい「中野区基本構想」策定に向けて 基本構想審議会が答申を提出しました

基本構想係/4階
☎(3228)5782 FAX(3228)5476

区は、10年後の将来像を描く、新しい基本構想の策定に取り組んでいます。基本構想審議会は、4月から検討を重ね、10月28日に、「中野区基本構想の改定にあたっての基本的な考え方及び盛り込むべき事項」について、区長へ答申を提出しました。

区は今後、答申に掲げられた視点や10年後に実現するまちの姿などを参考に、「中野区基本構想」の素案づくりを進めます。
☆答申の全文は、区HP、区民活動センター、図書館、区役所4階9番窓口でご覧になれます



▲左から小澤副会長、宮協会長、酒井区長

改定にあたっての基本的な考え方

将来にわたって活気あふれる地域社会を継続していくために、将来を見据え対応すべき社会状況として、新たな地域コミュニティの構築や超高齢社会への対応と子ども・子育て関連施策の充実などを挙げています。また、これらを実現するために重視する視点として、次の3点を掲げています。

- 多様性の共存とゆるやかなつながり
- 新しい物語のはじまりと再出発のまち
- 未来を協創する立場を越えた協働

10年後に実現するまちの姿

改定にあたっての基本的な考え方に基づき、答申では、10年後に実現するまちの姿を次の4項目ごとにまとめています。

- 誰もが気軽に地域に関われる「ゆるやかなつながり」が支える「なかの暮らし」
- 「未来を担う宝」である子どもを地域全体で育むまち
- 誰もが生涯を通じて自分らしく生きられるまち
- シンボル拠点の形成と安全・安心で住み続けたいなるまち

おも 人・想い・未来

区長 酒井直人

はや師走。朝晩の冷え込みが厳しくなっており、空気が乾燥していることを肌で感じます。年末に向けて一層慌ただしくなる時ですね。インフルエンザが流行しているので、早めのワクチン接種や手洗いの徹底などで感染予防を心掛けましょう。

少し人の力を借りて、普段の暮らしを続けていくのが在宅療養。今号の特集では、それを支える訪問看護師をご紹介します。中野区は、誰もができるだけ住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療、介護、介護予防、住まいなどを一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を計画的かつ着実に進めています。その核の一つとなるのが、医療や介護などの専門職や関係機関が連携し、地域の方々とも協力して、ケアの必要な方の在宅療養を

支えるネットワークづくりです。

在宅医、ケアマネジャー、ホームヘルパー、訪問看護師、地域の方とそれぞれお話しさせていただくと、確かな技術と温かさがあり、大変心強く感じています。こういった方たちがより連携しやすくなるための環境づくりを、みなさんと協議しながら、ハード・ソフト両面で進めていきたいと思っています。

さて、来年度予算の検討が大詰めを迎えています。区の将来をきちんと見据え、また、中野区の最大の財産である「人」が一層活躍できる予算にしたいと考えています。今号で予算の主な取り組み案をお示ししています。ぜひとも、みなさんのご意見をお聞かせください。

次号予告

みらいへ続くこの一年



なかの区報二次元コード

区内各家庭の郵便受けなどに配布しています
情報活用後は、資源として古紙の集団回収へ